

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和4年度第1回松戸市居場所づくり全体会議要旨(案)

1 日 時 令和4年4月12日(火) 10時～12時15分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

(1) 委嘱状交付

(2) 報 告

① 令和4年度「まつど DE つながるステーション」の創出について

② 各地区の進捗状況について

③ 「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

(3) 議 題

① 令和3年度「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について

② 「まつど DE つながるステーション」承認・活動費の支出について

(4) その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(12名)

会長	文入 加代子	松戸市社会福祉協議会	会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会	会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会	副会長
委員	平川 茂光	松戸市民生児童委員協議会	会長
委員	梶原 栄治	松戸市民生児童委員協議会	副会長
委員	阿部 剛	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会	理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部	部長
委員	上野 真一	松戸市市民部	部長
委員	大淵 俊介	松戸市健康福祉部	部長
委員	藤谷 隆	松戸市生涯学習部	部長
委員	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会	副会長

(2) 出席機関(6名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(8名)

松戸市社会福祉協議会

5 議題内容

■ 令和4年度「まつど DE つながるステーション」の創出について

松戸市地域共生課より、まつど DE つながるステーション創出に向けたアプローチの経過として、各地区のニーズ・課題、今後の方針や取り組みについて報告。

各委員よりいただいたご質問の概要

- ・実行委員会立ち上げでの感想やニーズの把握等で、大変だった点があったか。
- ⇒【回答】実行委員会が立ち上がった地区では、地域には居場所が必要だということで、前向きに進めていこうということになった。一方で居場所に関しては多数取り組まれていて、手一杯であるという感想だった。実行委員会が立ち上がらなくても、コミュニケーションを図っていくことは、プロセスの中で重要だと考えながら動いて来た。今後メリットや地域にとってなぜやる必要があるのか、どのように伝えていくのが課題である。

■各地区の進捗状況について

松戸市地域共生課より、各地区の進捗状況について説明。

各委員よりいただいたご質問の概要

- ・参画団体について、多岐に渡っているが、どのようなイメージを持っているか。既存の枠組み以外のご意見をいただけるようにした方がいいのでは。
- ⇒【回答】実行委員会の構成メンバーに縛りはないので、様々な方に入って頂き、多世代のつながりができるように、検討を進めていきたいと考えている。
- ・地域によって参画団体の呼称が、市民活動家・団体・居場所実践者・地域の居場所づくり関係者とあるが、地域に任せるのか。
- ⇒【回答】実行委員会が立ち上がり、正式な構成となった際には、正式名称を記入する。
- ・参画団体に民児協が入ってないところがあるが、市からは指導していないのか。
- ⇒【回答】事業説明について地区長に相談しながらやってきた。地区、町会での説明が延期になったり不十分などところがある。地区の状況に応じて、今後も説明していく。
- ・参画団体の方々から意見をいただくとと思うが、多様な方に携わっていただく事を考えると、もう少し広げていく必要があると思うが。
- ⇒【回答】各地区で意見は活発に出ている。まん延防止措置により、会議ができなかった地域についても、意見自体は出ているので、これをどう形にして行くのが、次のステップであると考えている。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

- ・地域の方々から情報を伝えられるようなチラシ等を作れば周知になる。情報をどう伝えていくか色々な手段があるが、手伝えることがあれば協力する。
- ・いろいろな方々が参画でき、意見を述べられるようなシステムと雰囲気の方が大事かと思う。
- ・町会、自治会に働きかけ、団体の協力を頂きながら、進めて行かなければと重責を感じている。

■「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

事務局より、「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について報告。

■令和 3 年度「まつど DE つながるステーション」活動費の精算について

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認をいただいた。

(1) まつど DE つながるステーション事業

・六実六高台地区プレイベント開催概要

開催日：令和4年 3 月 13 日(日)

場所：郵政宿舎(松戸市六高台 3 丁目)

目的：多世代の居場所をつくる取組を行う実行委員会が立ち上がり、今後、様々な活動を六実六高台地区で進めていくことを地域住民等に周知することを目的とする。

内容：①地域の居場所・防災マップの展示

②防災・減災グッズ展示と質問コーナー

③自宅や避難所でできる運動不足解消ストレッチ

※キッチンカーとのコラボ開催(先着 200 名にお弁当プレゼント)

主な対象者：六実六高台地区の方々及び居場所の運営などに関わるの方々

参加人数：233 人

運営チーム人数：約 50 名

広報手段：チラシ、インターネット(HP・SNS)、その他(口コミ等)

イベントに伴う経費：40,332 円(うち 332 円は寄付金により支出)

各委員よりいただいたご質問の概要

・キッチンカーの費用はどこから出ているのか。

⇒【回答】子ども食堂をやっている団体が入っているため、他の助成金を使用した。

ボランティアの昼食は、各地区の判断に任せるのか。

⇒【回答】担い手の方々の実費については、活動費の中から検討してほしいと考えている。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

・手弁当はボランティアとして、当然のこと。予算がなければ自腹で参加してもらおう。ここで決めるようなことではない。

・活動の内容や助成金の使い道等は、報告書によって判断せざるを得ないので、他者の目線を持って文書で説明してもらえればと思う。

■「まつど DE つながるステーション」活動費の承認・活動費の支出について

松戸市地域共生課より、以下 2 点について説明。異議なしとして承認をいただいた。

(1)「まつど DE つながるステーション」事業計画

・馬橋地区プレイベントの開催概要

開催日：令和4年5月28日(土)

場所：八ヶ崎小学校体育館

目的：地域で子どもたちが交流したり、子ども同士で外遊びをする機会が減少している現代社会において、地域の子どものから高齢者までの、多世代交流のきっかけづくりを「昔遊び」を通じて進めていく。

内容：昔遊びを通じて多世代交流、各種情報提供等

主な対象者：子どもとその保護者、地域の高齢者等(担い手として)

動員目標人数：50人

運営チーム数：10人

運営参加者：6団体

広報手段：チラシ配布・ポスター掲示、町会・自治会の掲示板や回覧板、インターネット(HP・SNS)、その他(口コミ等)

イベントに伴う経費：40,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

・どんな子ども、高齢者に来てほしいのか。

⇒【回答】どなたにでも来てもらいたい。プレイベント・ステーションをきっかけに、別の活動に繋がっていく、そのようなことも想定している。共通のコミュニケーションとしては、いい切り口だと思っている。今後は、学校とも協力しながら広げていきたい。

(2)「まつど DE つながるステーション」事業計画

・小金地区プレイベントの開催概要

開催日：令和4年4月16日(土)

場所：農園(松戸市平賀 本土寺表参道裏、交流会会場 赤門屋)

目的：農福連携をテーマに、農作業を通じて子どもや高齢者等の多世代間交流の機会創出を目指す。

内容：農作業を通じて多世代交流、各種情報提供

主な対象者：子どもとその保護者、高齢者

動員目標人数：10～20人程度

運営チーム数：4団体

運営参加者：10人程度

広報手段：チラシ・ポスター掲示、インターネット(HP・SNS)、その他(口コミ等)

・小金地区ステーションの開催概要

初回開催日：令和4年4月24日(日)

場所：農園(松戸市平賀 本土寺表参道裏)、交流等会場 赤門屋その他

目的：農福連携をテーマに、農作業を通じて子供や高齢者等の多世代間交流の機会創出を目指す。

内容：農作業を通じて多世代交流、収穫イベント、講演会、各種情報提供

主な対象者：子どもとその保護者、高齢者、福祉施設の利用者等

動員目標人数：10～30人程度

運営チーム数：4団体

運営参加者：10人程度

広報手段：チラシ・ポスター掲示、インターネット(HP・SNS)、その他(口コミ等)

各委員よりいただいたご質問の概要

・農地の広さはどれくらいか。

⇒【回答】1カ所は60坪、他2ヶ所については未定である。

・農地3ヶ所の費用は適正なのか。

⇒【回答】土地を借りるだけでなく、農機具を借りたり、事前準備もある。実行委員会で、再度検討してもらい、使わなかった分については、精算してもらおう。

・イベントをなぜこんなに急いでいるのか。

⇒【回答】既存の地域活動と連動させるため、枝豆の種まきイベントを4月16日に実施したい。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

・参加者は20名程だが、これをきっかけに地域で広がり、収穫したものを寄付することで、支援につながる。

・一意見だが、チラシも自前で作るのではなく、プロに頼む方法もある。

6 その他

・今後の予定…令和4年度第2回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時：令和4年7月11日(月)10時～